

こんにちは
教育委員です



発行:今金町教育委員の会
〒049-4393 北海道瀬棚郡今金町字今金48−1
TEL:0137-82-3488【No.104】H24(2012).7.17
E−mail:mitsuhiro.nakajima@town.imakane.lg.jp

平成１５年７月１日、外崎町長より教育行政の舵取りの命を頂き、町議会の同意を頂いてから教育長としてこの７月に９年目を迎えることとなりました。

去る５月１７日には全国町村教育長会の表彰規程に基づく「全国教育功労者表彰」受賞の栄を賜り、東京都を会場に行われた定期総会開会行事での授与式にて表彰いただきました。町民の皆様をはじめ、町議会、教育関係者の皆様に心より感謝を申し上げます。本年度は、２，５６２町村中、２７名の教育長が受賞されています。



今後は、社会経済情勢の変化や教育改革の流れに的確に対応し、教育課題に応えるため「町づくりは人づくり」との不変の基本理念に立ち、学校や家庭、地域、行政それぞれの教育機能を発揮できるようリーダーシップとともに「信頼」を基軸とした各分野におけるネットワーク形成に尽力してまいりますので変わらぬご指導、ご助言を心よりお願い申し上げます。

“ガンバレ!!” 奈良君（教委嘱託主事）
第５０回北海道障害者スポーツ大会釧路大会出場

今金町と今金高等養護学校で昨年度より実施している就労支援制度の第１号職員として教育委員会へ勤務して２年目を迎える奈良嘱託主事が、９／１～３の日程で、釧路市で開催される全道大会に、養護学校の生徒３名とともに出場することとなりました。奈良君は、ソフトボール投げと４００Ｍリレーに出場することとなり、その活躍を願って教育委員会職員（事務局、給食センター、学童・季節保育所、発達支援センター、支援員、今中校務補）から、教育委員会のネーム入りの「ウエアー上下、スポーツシャツ、短パン」が贈られました。奈良君は「プレゼントに感謝します。期待の大きさに大変ですが、一生懸命ベストを尽くします」と感謝の気持ちと決意を伝えてくれました。

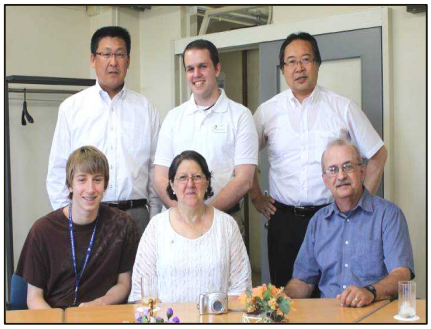


奈良君と養護学校の生徒の皆さんの健闘と活躍を心から祈っています。

教育長室へのうれしい来訪者

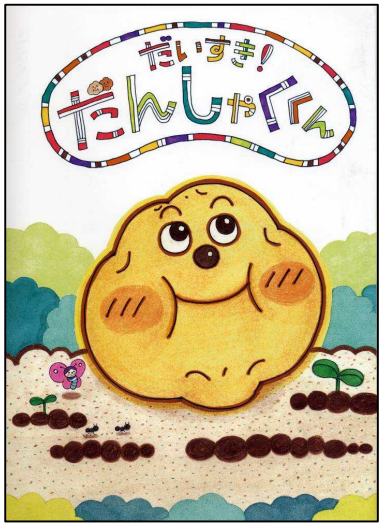
教育長室に「ファミリー（家族）」にまつわる二組の方々が訪ねて下さいました。

お一人目は、昨年から本町で３代目の国際交流アドバイザーとして幼児から小中学生までの国際理解教育や住民のみなさんの英会話教室を開設しているマイケル氏のご両親と甥の皆さんが、カナダからの来日にあわせて６月２８日教育長室を訪問いただきました。懇談の中で、ご両親は、今金町の自然の素晴らしさや人々の親切に触れ、「マイケルがこの町を大好きな理由がわかりました。息子をよろしくお願いします。」と丁寧なご挨拶をいただきました。また、今年は、ニュージーランドのバーサイド高校生（１４名と引率教諭２名）の受け入れが（７／２～１１まで）ありましたが７／３開催されたウエルカムパーティーにもゲストとして参加いただきました。



お二人目は、町内の美利河地区に在住の丸山昇祐さんです。５月２日に誕生した第一子（長女）の成長報告と出産の際に町より誕生祝いとして贈られている今金の絵本「だいすき!だんしゃくくん」のお礼に訪問してくれました。

持参してくれたプリントには、丸山農場の２５頭の牛たちのニックネームのついた顔写真に囲まれたお子さんの笑顔がアップされ、「元気に育っています」とのメッセージも添えられています。昇祐さんご夫妻のお子さんに対する愛情と共に家族のような牛たちへの優しい思いの感じられるプリントです。



今金絵本は、２０１０年にプロジェクト委員会を立ち上げ制作されたもので、全国ブランドで知られる「今金男爵」を題材とし、家族の団らんやわが町の理解が深まることを願って制作されています。

丸山ファミリー同様に誕生された子どもたちが絵本や今金町の自然・文化を通じ健やかに成長されることを心からお祈り申し上げます。皆さんもお気軽に訪問下さい。お待ちしています。

委員リレー寄稿「歳時記」



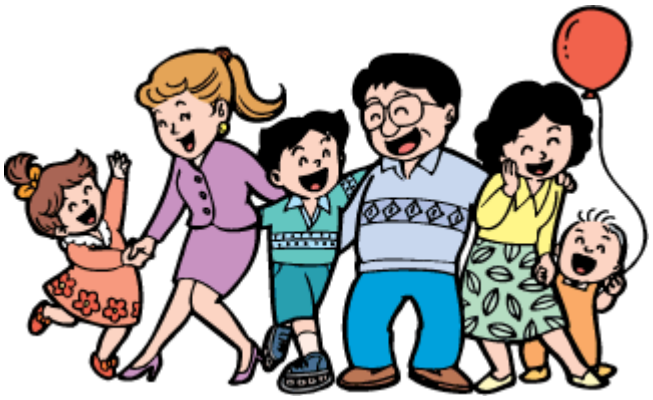
今月は、平井委員長職務代理です。

『あいさつ』

挨拶は、「おはよう」、「こんにちは」、「こんばんは」、「おやすみなさい」、「いただきます」、「ごちそうさま」「さようなら」等まだ多くの言葉があります。その中で、人間として最も基本になる「ありがとう」「すみません」「はい」の三つの挨拶言葉であると、元女子高校葛城先生の教えをある書物で知ることがありました。「ありがとう」は、感謝の言葉だけではなく（有ること難し）の意で、今ここに、こうして生きて有ることの難い、希なことの事実をいうのです。やがて、死する者の、今のいのちあるは難しと、法句教（釈迦の語録の形式を取った仏典）に説かれています。いのちの厳粛さを有り難うと受け止めることです。「すみません」は、済みませんで、必要もないものに謝罪する詫びの言葉だと解するから敬遠します。しかし、それは誤りです。物事がまだ完了していない状態を確認することが、済みませんです。私たちの一生には、きちんと決済をしておくべき多くの事柄があります。未決済のさまざまな問題があります。例えば、多くの人から、数々の恩恵を受けていますが、その恩恵にお返しが済んでいない、果たしてない心の痛み、心の敬虔さが、すみません、と口をついて出てくるのです。「はい」は、人に対する返事をすることでなく、自分に応えるのです。誰かに呼ばれたとき、大声で、はい、と応えると胸の中がすっきりとして朗らかになります。混乱、散乱していた自分の心が、一つに集約され、自分が自分に出会えたのです。巡り合いです。三つの挨拶言葉を実践すると、それだけでも、自分のいい人生が構築されて、周囲に快適で爽快さをかもしだすとの、旨の文章だったと記憶していましたがとても感銘を受けました。挨拶言葉、表現言葉、行動言葉等日本語には、奇麗で丁寧で温かく、思慮深い言葉がまだまだたくさん有ると思います。我が町が学力向上のため『読書と作文』を推進するに当たり、文字の意味もご指導お願いたい。







『ふるさとの恵みを学ぼう』
～美利河小・種川小複式合同食育学習～

学校給食センターが推進する食育・食農教育授業として７月３日（火）クアプラザピリカレストランを会場に佐々木副料理長による食育講話『マクロビオテック料理（長命食）と「地産地消」、「一物全体」、「旬」の密接な関係について』のお話を頂きました。その後、長尾料理長による今金町の食材をベースとしたメニューが提供され、実際の食事を通した食育学習が行われました。児童たちは、食事をしながら地元の食材と思うものをそれぞれがワークシートに記入しながら、今金町にあるたくさんの新鮮で美味しい食材について学習するとともに食材のもつ、効能（健康や体力の維持）についても学習を深めました。





快く承諾をいただき、準備をいただきました岸支配人をはじめレストランスタッフの皆さんに感謝を申し上げます。